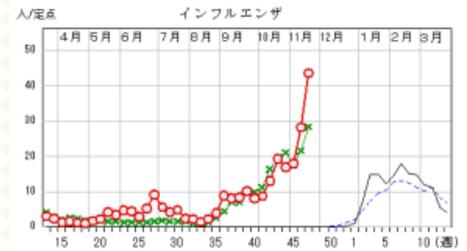


認定看護師ニュースレター第70報

感染管理認定看護師の奥田聖子です。

コロナ禍になってからインフルエンザの流行がほぼない数年を経過し、今年久しぶりにインフルエンザウイルスの流行が来ています。しかもワクチンのない9月にはすでに職員間でアウトブレイクしてました。今年是要注意です！11月ですすでに警報レベルに突入です。年末年始にかけて宴席が増えますので、ご注意ください。



【長崎県全体インフルエンザ流行状況】

体調が悪いときは参加しない！参加後に体調不良がでたら出勤しないで上司に報告し指示を仰ぐ！感染症をもらったり、うつしたりしないようにお互いに注意していきましょう。

今回はサージカルマスクについてのお話です。

以前よりマスクの選定をするときに日本には規格がなかったため米国の規格を参考にしていました。コロナ禍で多様なマスクが入ってきましたが性能を比較するのが難しくどこでも選定に困ることがありました。



2021年6月に日本でもサージカルマスクのJIS規格が制定されました。

表4 日本と米国のサージカルマスクの品質基準の検査項目の比較^{7, 18)}*1

項目	単位	日本 JIS T 9001 ⁷⁾			米国 ASTM F2100 ¹⁸⁾		
		クラスⅠ	クラスⅡ	クラスⅢ	レベルⅠ	レベルⅡ	レベルⅢ
微小粒子捕集効率 (PFE)	%	≥95	≥98	≥98	≥95	≥98	≥98
バクテリア飛まつ捕集効率 (BFE)	%	≥95	≥98	≥98	≥95	≥98	≥98
ウイルス飛まつ捕集効率 (VFE)	%	≥95	≥98	≥98	評価なし		
圧力損失 (呼吸抵抗 (ΔP)) ^{*2}	Pa/cm ²	<60 (<6.1)	<60 (<6.1)	<60 (<6.1)	<49 (<5.0)	<59 (<6.0)	<59 (<6.0)
人工血液バリア性 ^{*3}	kPa	10.6	16.0	21.3	10.6	16.0	21.3
可燃性	-	区分1	区分1	区分1	Class1	Class1	Class1
遊離ホルムアルデヒド	μg/g	≤75			評価なし		
特定アゾ色素	μg/g	≤30			評価なし		
蛍光	-	著しい蛍光を認めず			評価なし		

*1 米国文献^{7, 18)}より筆者作成

*2 米国の単位はmmH₂O/cm²で表記されており、表4では換算値を記載

*3 米国の単位はmmHgで表記されており、表4では換算値を記載

細かくチェックして選んだマスクでも正しい着用をしなければ効果はありません。ノーズワイヤーをきちんと鼻の形に合わせること、ひだはしっかり伸ばして鼻と口を覆うこと、ひだは下向きでひだに埃や花粉や飛沫が乗りにくいようにすることなどを意識して効果的に着用しましょう。

作成：奥田聖子 承認：横山藤美